

# 「横浜フラワー&ガーデンフェスティバル 2025」が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2025年5月3日（土）から5日（月）にかけて、横浜市西区にあるパシフィコ横浜で「横浜フラワー&ガーデンフェスティバル 2025」（主催：横浜フラワー&ガーデンフェスティバル 2025 実行委員会 他）が開催されました。花き園芸の消費拡大に向け、様々な展示企画や生産者の講演がありましたので、その概要を紹介します。

## 1 「横浜フラワー&ガーデンフェスティバル 2025」の概要

当フェスティバルは、2027年に横浜市で開催される国際園芸博覧会「GREEN×EXP02027」への期待感を高めるため、昨年から実施している日本最大級の新しい園芸イベントです。昨年は4日間で3万5,000人の来場者があり、今年は3日間の開催でしたが、昨年同様多くの来場者がありました。

## 2 消費者に向けた様々な園芸コンテンツ

### (1) 花と緑の楽しみ方

「花とみどり和の愉しみ」をテーマにした展示では、ミニバラを使った盆栽の展示や、日本の伝統的な園芸植物「万年青」の展示とその人気投票などがあり、普段の園芸とは違った楽しみ方が提案されていました。



バラの盆栽

鉢と合わせて  
楽しむ万年青

万年青の人気投票

### (2) 生産者による講演

取材した3日（土）にはステージ講演として、園芸デザイナーの三上真史（みかみまさし）氏による「三上流アジサイの楽しみ方」や、本県の観葉植物生産者である杉山拓巳（すぎやまたくみ）氏の「新しい！観葉植物の選び方～“育てやすさ”より“育てがい”～」がありました。

三上氏からは、鉢物アジサイの管理方法や、剪定した花を切り花として再利用して室内に飾るアイデアが提案されました。

杉山氏からは、様々な観葉植物の自生地の写真を紹介しながら、それぞれの特性や自生地の環境を知ること、その植物に合った育て方が分かることが紹介されました。



剪定したアジサイを利用した花の飾り方



杉山氏の講演の様子

### (3) ガーデニングコンテスト、ワークショップ

体験コンテンツとして開催されたガーデニングコンテストでは、来場者がスマートフォンから投票する仕組みを取り入れ、投票するとひまわりの種がプレゼントされることから、多くの来場者が参加していました。そのほか、生け花のワークショップなどの子供も楽しむことができる体験型のイベントや、花や観葉植物、園芸資材の販売ブースもあり、来場者が参加して楽しめる企画が多くあったことが、印象的でした。



スマートフォンで投票できる仕組み



ガーデニングコンテストの出展作品



ワークショップの様子



販売ブースの様子